

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	ダニ媒介感染症の多施設共同レジストリ研究
当院の研究責任者 (所属)	内科 床島真紀 (医局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 宮崎泰可 宮崎県立宮崎病院 山中篤志 宮崎県立延岡病院 天神佑紀 宮崎県立日南病院 土田真平 独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 松元信弘 社会医療法人善仁会宮崎善仁会病院 岩江奈津子 独立行政法人国立病院機構都城医療センター 今津善史 社会医療法人泉和会千代田病院 小玉剛士
本研究の目的	リケッチア感染症及び SFTS を主としたダニ媒介感染症患者を対象とし、臨床データの集積、解析を行い、その病態を解明することが目的です。なお、この研究は、ダニ媒介感染症の治療に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。
調査データ 該当期間	2029年9月30日まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>対象となる方のカルテ情報から、診療情報や血液検体を収集し利用します。これらの情報をもとにダニ媒介感染症の臨床的特徴や病態について解析します。</p> <ul style="list-style-type: none">・診療情報<ul style="list-style-type: none">① 患者さんの背景情報 (年齢、性別、病歴、診断名、治療歴など)② 症状、バイタルサイン (体温、血圧、脈拍数、呼吸数など)、身体診察所見③ 血液データ：血液検査、尿検査、画像検査 (X線、CTなど)④ 治療内容⑤ 臨床経過⑥ 宮崎県衛生環境研究所で行われた検査結果 (ダニ媒介感染症の病原微生物の PCR、抗体価、全ゲノム情報の解析)・採取された血液検体<ul style="list-style-type: none">2008年1月1日から研究機関の長の許可日前日までに宮崎大学医学部附属病院に入院あるいは通院され、ダニ媒介感染症の治療を受けられた方、かつ上記の臨床研究に参加頂き研究目的以外の検体の使用について同意頂いた方の下記残余検体を使用します。<ul style="list-style-type: none">1 血清2 血漿・診療情報および血液検体の管理責任者 宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 川口剛・診療情報および血液検体の授受について 本研究で得られた診療情報および血液検体は、宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野研究室にて保管・管理し利用されます。また、先述の研究機関より診療情報を受けます。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	この研究では、通常診療で行った血液検査や尿検査の残った検体 (残余検体) を回収します。回収する残余検体は、血清と尿です。研究事務局の担当者が各研究機関を訪問して回収します。

個人情報の取り扱い	研究に当たっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号に置き換えて使用いたします。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費（法人運営費およびミッション実現戦略経費）及び下記の文部科学省科学研究費を研究資金源として実施する。</p> <p>資金源；文部科学省科学研究費若手研究</p> <p>課題名；SFTS ウイルス感染は宿主の好中球機能を低下させ、真菌症合併のリスクとなるか？</p> <p>期間；2023 年度～2025 年度で賄われます。</p> <p>また、本研究の研究担当者は、「宮崎大学医学部等における臨床研究等利益相反マネジメント規定」に従い、この研究の公正な実施に影響が出ないように配慮する。なお、本研究の研究責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>公益社団法人宮崎市郡医師会病院</p> <p>床島真紀</p>
備考	